

第5回課題研究発表会報告・農業フロンティア海外研修報告

地域の課題解決に向けた取り組み

1月20日(月)メルサンホールに於いて「令和元年度玖珠美山高校地域産業科課題研究発表会」が実施されました。この課題研究発表会は、生徒自ら課題を設定、研究し、その成果をまとめて発表するプロジェクト学習で、3年間の専門学習の集大成となるものです。地域と連携したテーマが多いことも本校課題研究の特色の一つで、生徒たち自身も地域の役に立てた経験が、故郷を思う心を育み、また一歩自らを大きく成長させることができたのではないかと思います。



生徒によるプレゼン 来賓の方からも多くの質問を頂きました



3年4組で記念撮影

<最優秀賞>

題目:「パークを中心とした循環型農業の展開」
発表者: 荒川 かれん、赤木 瑚奈(チーム野菜)

<優秀賞>

題目:「玖珠町産大麦グラノーラを使用したメロンパンの開発」
発表者: 瀧石 くるみ、後藤 淳史(チーム食品)
題目:「子牛の下痢の対処法についての研究」
発表者: 賤津 優雪(チーム畜産)

流通研修(台湾)に行ってきました

1月3日(金)~6(月)に、「未来の農業フロンティア育成海外研修」が実施されました。本年度の研修先は台湾の台北市で行われ、「日田ナシ」の販売促進活動等を体験しました。参加した4名の生徒たちは事前研修として、生産者の方からマーケティングの手法や、APUの大学生から英語や中国語を学び、シティースーパー復興店で試食販売に挑戦しました。また、国立台湾大学の学生との意見交換会や、国立故宮博物館の視察研修を通して、文化や考え方の違いを学び、グローバルな視点を身に付けてくれたのではないかと思います。将来の大分県農業を支えるリーダーとして活躍してくれることを期待しています。



国立台湾大学の学生と



試食販売体験



意見交換会

<研修に参加した生徒>

阿部 まなみ、河野 梨乃、宿利 理人、中川 翔